

JTDB2020 公表データ分析研究者へのお知らせとお詫び

日本外傷診療研究機構
団体（正）会員・研究者各位

拝啓

寒冷の候、会員先生方におかれましてはご多忙なものと拝察申し上げます。

このたびは、日本外傷データバンクのデータベースを用いて研究して下さっている先生方にお知らせとお詫びがあり、ご連絡いたしました。すなわち、2020年に公表しましたJTDBの新システムと旧システムのデータベース(DB)のうち、旧システムのDBファイルの一部に不備があることはわかりました。昨年2020年に公表しました旧システムのDBファイルはDB1(主力ファイル)とDB2(附属ファイル)に分かれており、このうちの2020年公表旧システムDB2内の既往症・受傷機転・緊急処置・手術適応・手術の項目に不備があることが、日本外傷学会トラウマレジストリー検討委員会委員の指摘により、明らかになりました。JTDBのデータを用いて研究をして下さっている会員諸氏には誠に申し訳なく、ここに心からお詫び申し上げます。また、旧システム2020公表データDB2の項目データに不備があったことから、このDB2のファイル(他の項目を含めて)を用いて研究されている先生におかれましては、誠に申し訳ないのですが、先に施設責任者にお送りしました今年度のJTDB公表データ2021のデータベースを用いて、再分析して戴けますよう何とぞお願い申し上げます。附属データにつきましては、例年どおりの正規性データ(縦持ちデータ)の形式に戻しましたことを併せてお伝えいたします。なお、委員からデータ不備の指摘を受けたのが2021年11月中旬でしたので、ご連絡の時期がかように遅くなったことを重ねてお詫びいたします。ご不明な点がございましたら、齋藤大蔵 ds0711@ndmc.ac.jp までご連絡のほど宜しく願いいたします。

先生方の益々のご発展を祈念いたします。

敬具

2021年12月

日本外傷診療研究機構理事
日本外傷学会トラウマレジストリー検討委員会担当理事
齋藤 大蔵